

科目責任者 庄司 優 (薬効学教室)

■ 教育目的

血液の性状に加えて、各種の血液学的検査法の理論と実際の検査手技を理解するとともに、代表的な血液疾患の臨床に関する基礎的知識を習得する。

■ 学習到達目標

臨床血液学の基本を習得し、血液疾患の臨床における血液学的検査の病態的意義を理解できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：シラバスの授業内容に該当する教科書・参考書の記載に目を通しておく。

復習：授業プリントにもう一度目を通し、授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分で調べてみる。

■ 授業内容

血液学の基本に加えて、検体採取法、取扱い方法、定性および定量検査、形態学的検査などの基本的事項や代表的な血液疾患の臨床に関する基礎について講義する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	血液の基礎	血液と血液学的検査、血液の成分・性状・機能	
2	血液学的検査の自動化	CBC 検査の自動化、血液凝固検査の自動化	
3～6	血液凝固	・血液凝固のメカニズム ・血液凝固に関する検査（1） ・血液凝固に関する検査（2） ・血液凝固に関する検査（3）	
7	血球の分化	血球の産生と崩壊、分子マーカー	
8	赤血球	赤血球の形態と機能、赤血球に関する臨床検査	
9	白血球	白血球の形態と機能、白血球に関する臨床検査	
10	血小板	血小板の形態と機能、血小板に関する臨床検査	
11～14	血液疾患の臨床	・代表的な血液疾患（1） ・代表的な血液疾患（2） ・代表的な血液疾患（3） ・血液疾患の治療薬	
15	症例検討	臨床検査データにもとづく症例の解析	

■ 授業分担者

No.1～2、7～15：庄司 優、No.3～5：阿刀田 英子、No.6：鹿本 泰生（非常勤講師）、No.11～15：野澤 玲子

■ 成績評価方法

期末試験（90%）および出席状況・授業態度（10%）で総合評価を行う。

■ 教科書

『血液検査学（標準臨床検査学）』 矢富 裕 監修（医学書院）

必要に応じてプリントを配布

■ 参考書

『病気がみえる vol.5 血液』 医療情報科学研究所 メディックメディア）

『血液細胞ノートー形態速習アトラス』 巽 典之 編（文光堂）